

青年委員会ニュース

第4号

2017年5月9日

【発行責任者】

連合徳島青年委員会

教宣班

連合徳島2016青年委員会定期総会を開催

2016年度の運動を総括し、2017年度の方針を確立

12月17日、労働福祉会館502号室で連合徳島2016青年委員会総会を開催し、県内各構成組織より40人が参加し、意思統一を行いました。

総会は菖蒲事務局長の司会進行で始まり、近藤事務局次長から開会のあいさつの後、総会議長にJP労組の秋本代議員が選出されました。



総会議長を務める秋本代議員

小畑委員長から「連合は『働くことを軸とした安心社会』に向けて活動している。今年は、電通の過労死問題が大きな社会問題となり、経営者に都合のいいような施策をしてきた歪みに象徴するような事が出てきている。取り返しのつかないことが起こってからは遅いということは明らかであり、いかに未然防止ができるか。コミュニケーションを取り、風通しの良い職場づくりに向け努力が必要であり、人材育成については根気強く愛情をもって接しよう」とあいさつがありました。



激励あいさつを行う森本会長

連合徳島森本会長から「年明けの解散総選挙は先送りとなったが、安倍政権は労働法制改悪を目論んでいる。4年連続の『官製春闘』は、青年と中間層の賃上げにつながる春季生活闘争になる。経営者と労働者のお互いが汗をかき、暮らしの底上げを勝ち取らなければならない」と激励あいさつがありました。

2017年度役員体制

役職	名前	構成組織
委員長	小畑 文人	四国電力総連
副委員長	前岡 勇次	電機連合
事務局長	長谷川 大介	自治労
事務局次長	近藤 俊英	JP労組
幹事(委員)	渡邊 健太	全水道
幹事(委員)	川満 出	UAゼンセン
幹事(委員)	横井 裕輔	JAM
幹事(委員)	山田 雄作	農協労連
幹事(委員)	佐々木 崇志	全国一般
幹事(委員)	濱垣 謙	四国労金労組

1年間、よろしくお願いします。

近藤事務局次長が祝電メッセージを紹介し議事に移り、菖蒲事務局次長から2016年度活動経過報告・会計報告、第1号議案として2017年度の活動方針では幹事会の定期的な開催、青年委員会ニュースの発行、連合徳島の基本行動に対する積極的参加、新役員体制が提案され、満場の拍手で承認されました。最後に新旧役員あいさつを行い、小畑委員長の団結ガンバローで閉会しました。



～ 青年委員会役員紹介 ～



- 委員長
- 小畑 文人
- 四国電力総連

青年委員長の任にあたっております、四国電力労働組合出身の小畑です。

職場では、大きな変化を迎える厳しい時期ですが、ライフラインを支える使命感と誇りを持って、共に働く仲間、地域のみなさまとの連帯感を大事に、日々の業務に励んでおります。

私個人は、今年で遂に40歳の台を迎えますが、趣味のサッカー、フットサルと最近始めたマラソン等で寄る年波に逆らいつつ(笑)、徳島県の某サッカーチームのサポーターも熱心にやっております。特にマラソンの時、応援はすごく力になることを実感しました。そして、好きなサッカーで頑張る選手・チームへの応援という行為を通じて、多くのかけがえのない仲間を得ることができました。連合徳島の諸活動の中でも「クラシノソコアゲ応援団」の一員として、すべての働く仲間のために、しっかりと旗振り役を務めていきたいと思います。

共に働く一員である私たちを繋ぐのは、上下の関係ではなく横の関係です。そして、その推進力は、1人のトップランナーではなく、みんなの力です。

同じ立場で、同じ目線で、しっかりとスクラムを組んで、着実に一步を踏み出していきたいと思います！



- 事務局長
- 長谷川 大介
- 自治労

12月の総会より、事務局長の任にあたっています自治労の長谷川です。三好市職労連出身で現在は徳島県本部青年部長もしています。

「自治労」は、全国の県庁、市役所、町村役場、一部事務組合（複数の自治体で広域的な行政を運営する組織）などの地方公共団体と公社・事業団や地域公共サービス関連で働く仲間組織されていて、北は北海道から南は沖縄まで、どこへ行っても組織があり、あらゆる仕事に従事する他の労働組合に見られない大きな特徴を持っています。ちなみに私は、市役所の市民課で、個人番号関連をはじめとする住民基本台帳担当として仕事をしています。

連合運動を通じて広がる県内、四国、全国の「働く仲間」との学習と交流を大切にしながら、誰もが健康で人間らしく定年まで働き続けられる職場、地域、社会の実現に向け、青年が元気を出し先頭に立つ覚悟を持って労働運動を前進させていきたいと思います。未来は青年のもの！共に頑張りましょう！



- 幹事（委員）
- 渡邊 健太
- 全水道

この度、委員会幹事に就任しました全水道の渡邊です。

徳島市水道局では浄水処理や上水道の拡張工事を行う他に、水道管のメンテナンス、改良を直営にて行う部署があります。ライフラインの一つとして市民の方への対応をいち早くできるよう、局員自ら修繕・水質管理を行い、安全な水を届けることが主な業務となっています。

連合では様々な職種の業務体制を知り、労働条件への不満や課題、改善点があることに気づかされ、改めて労働組合の必要性を考えさせられました。

今後、組織間の協力や、課題・情報の共有化を行い、青年委員会幹事として活動を前進させるため頑張っていきたいと思います。